

越後妻有で生きる 個の力

Echigo
Tsumari



地域で頑張る人のモチベーションと危機意識

越後妻有には、地域をこよなく愛し、地域のために頑張っている人がいます。人口が減少していく中だからこそ、必要とされるのが活力ある「個の力」。地域で頑張っている方々から頑張り続けるモチベーションと地域を愛するが故の危機意識についてお話ししてもらうとともに、継続して活動していくためには何が必要かを参加者の皆さんとともに話し合います。頑張っている人から刺激をもらい、「私ももっと頑張ろう!」とチャレンジし続けたい気持ちは高め、「応援する越後妻有」の風土を一緒につくっていきましょう! ご参加をお待ちしています。

2019.11.24 **SUN** 13:00-15:00 受付開始12:30

定員 40名 ※定員になり次第締め切らせていただきます。 **参加費** 無料 **締切** 11月18日 **MON**

対象 十日町市・津南町近隣の住民、地域活動に関わる方、地域おこし協力隊、地域支援員、高校生、企業経営者、自治体職員、その他

会場  **IKOTE 十日町産業文化発信館 いこて 2階**
十日町市本町5丁目39-6

プログラム 司会：FMとおかまち パーソナリティ 樋口 紗里
ファシリテーター 大塚 真

13:00 | 開会 (12:30受付開始)

● 第1部 プレゼンタイム

地域で頑張るモチベーションの源泉を聞こう!

13:05~13:35 **クラフトビールで町おこし「妻有ビール」プロジェクト**
高木 千歩さん(十日町市在住) / 妻有ビール(株) 代表取締役

もっと自分で動くことで、新しい可能性が広がる!!

江村 大輔さん(津南町在住) / 特定非営利活動法人 Tap 事務局長

13:35~13:40 **休憩**

地域のために頑張り続けられる根源(危機意識)を聞こう!

13:40~14:10 **廃校から生まれた人とのつながり**

恩田 稔さん(津南町在住) / 三箇地区都会と交流を進める会 会長

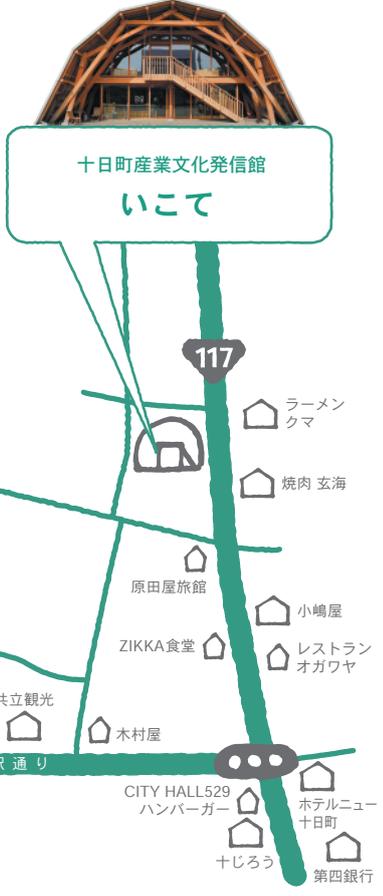
集落を生き活きさせるプロデュースカ

江村 久さん(十日町市在住) / 中手集落地域づくり会 事務局

山口 洋樹さん(十日町市在住) / 吉田地区地域支援員

● 第2部 交流タイム

14:15~15:00 | ~ゲストと会場の皆さんで意見を出し合い、交流します~



主催：新潟県十日町地域振興局 共催：十日町市、津南町

後援：FMとおかまち、十日町新聞社、十日町タイムス社、妻有新聞社、新潟日報社

十日町商工会議所、川西商工会、中里商工会、水沢商工会、松代町商工会、松之山商工会、津南町商工会 (順不同)

協力：シェアアトリエ アスト、株式会社 toiz

参加申込みは
こちら



地域への強い「愛着」が 行動につながる地域

誰よりも地域への愛着が強い人ほど、地域で頑張っているように感じます。そして、一生懸命頑張っている人は、色々と動いていて、ステキに感じられて、自然と応援したくなる空気が生まれます。
地域で頑張る人が次々と生まれ、応援する地域風土があれば、活気ある地域になるものと考え、今回のミーティングを企画しました。



妻有ビール(株) 代表取締役

高木 千歩
TAKAGI CHIHO



クラフトビールで町おこし 「妻有ビール」プロジェクト

東京のOLから地域おこし協力隊として十日町市に移住し、地産地消をテーマに農産物の販売促進など地域活性化を目指して活動を行う。任期終了後仲間4名でレストランを開店。クラフトビールをお店で提供するなか、「妻有ビール」の構想を練る。現在、地域や首都圏の様々なイベントに出店し、お客様とつながることで越後妻有の魅力のアピールしている。次々と新しいことに挑戦する千歩さんのパワーはどこからくるのか。自身のルーツである十日町の人々との関わりを含めてお話しいただきます。

だいごさんが

三箇地区都会と交流を進める会

恩田 稔
ONDA MINORU



廃校から生まれた 人とのつながり

地域の高齢化率41%を知り、「いま動かなければ、10年後はない」と考え、旧三箇小を拠点に、鎌倉小学校の子供たちの農業体験を受け入れ始めた。交流は地元住民の笑顔を生み、都会の子供や先生からは「三箇の体験は面白い」と喜ばれた。現在は、都会との交流のほか、移住体験や外国人旅行者の受け入れにも取り組んでいる。廃校が生む、人と人とのつながりの面白さについてお話しいただきます。

特定非営利活動法人Tap 事務局長

江村 大輔
EMURA DAISUKE



もっと自分で動くことで 新しい可能性が広がる!!

県外から津南に戻ったとき、人のつながりが薄れていることに気づく。思い描く津南にしたいと考え、有志で話し合いながら、企業や行政を巻き込んでいく。町民自ら考え、関わり合いながら社会を支える新しい仕組みとしてTapを生み出す。活動7年目を迎えた現在、住民が企画するイベントや教室は好評で、町民同士がつながるようになった。地域を動かす熱い思いをお話しいただきます。

中手集落地域づくり会 事務局

江村 久
EMURA HISASHI



吉田地区地域支援員

山口 洋樹
YAMAGUCHI HIROKI



集落を生き活きさせるプロデュースカ

「幻の黒滝」が市文化財に認定、大地の芸術祭作品「Welcome」を誘致、新潟県の名水「中手の松茸清水」の選定、「トンネルの向こうの音楽会」の開催など、立て続けに地域の魅力をアピール。あの村には何も無いと言われた集落で、地域の魅力を発見し、磨き上げ、アピールすることに成功した。住民の9割が75歳以上という中手集落に笑顔とつながりを取り戻したプロデューサー役のお二人にお話しをお聞きします。

お問い合わせ
お申し込み先

新潟県十日町地域振興局企画振興部 〒948-0037 新潟県十日町市妻有町西2-1
TEL 025-757-5517 FAX 025-752-5604 Mail ngt111710@pref.niigata.lg.jp
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/tokamachi/>



参加を希望される方はWeb/メール/FAX/電話でお申し込みください。ホームページからもお申し込みいただけます。